

## 「The New Times」（英字日刊紙）の主要報道

2011年2月

在ルワンダ大使館

### （１） 内政

ア 地方選挙：４日に村役場・小地区議会，２１日に郡議会の選挙が行われた。４日の投票に関し，報道関係者は，投票者が立候補者の後ろに並んで投票する方法は非民主的であると指摘したが，国家選挙委員会（NEC）は，民主的かつ効率的であると主張した。２１日の選挙は，秘密投票であり，投票率は９３％を超えた。NECは，選挙スタッフ１４名が立候補者への便宜を図ろうとして逮捕されたが，全体を通じて公平で平和裡に行われた旨発表した。

イ カガメ大統領の一般教書演説：１４日，カガメ大統領は，議会にてルワンダ初となる一般教書演説を行った。政府関係者，外交団，経済界など様々な分野からの参加者が集う中，同大統領は，ルワンダの過去の歴史から学び，国の発展のために更なる努力を継続しようと呼びかけた。

ウ ハビネザ・スポーツ・文化大臣の辞職：１５日，ハビネザ・スポーツ・文化大臣は，インターネットを通じて自身の不謹慎な写真が出回ったことを受けて，辞表を提出し，マクザ首相はこれを受理した。２月末現在後任は発令されていない。

### （２） 経済

ア 経済成長：財務省は，昨年のGDP成長率が７．４％であったと発表した。ルワンゴムブワ財務大臣は，２００９年の金融危機で影響を受けたサービス業・製造業の回復や，農業セクターの伸びが高成長の主な要因であったと述べた。また，ルワンダ開発局（RDB）は，昨年の貿易額は４５４百万米ドルであり，一昨年比２３％増であったと発表した。輸出高のうち観光業が４４％を占め，鉱物（１４．９％），コーヒー（１２．４％）が次いでいる。

イ 観光産業：RDBは，昨年のルワンダの観光収入が２００百万米ドルに達し，一昨年比１４％増であったと発表した。ルイガンバRDB観光保全部長は，国立公園の整備の他に伝統文化と観光を結びつけた行事を増やし，観光客にとって魅力的な環境が整ったことが背景にあると述べた。また，ヒルトンホテルグループは，２０１２年までにキガリ市内にホテルを新設し，３０百万米ドルを投資すると発表した。

ウ 鉱物産業：バジヴァモ森林・鉱床大臣は、昨年の鉱物産業の生産高が一昨年比 34%増であり、輸出収入は96.4百万米ドルであったと発表した。一方、ルワンダ鉱物地質局は、採掘地保証（i T S C i）の導入を進めているが国内の中小企業の多くは施行開始の4月までに準備を完了出来る可能性は低く、輸出に与える影響は大きいとして、同制度の導入延期を求めた。

エ 天然ガス産業：キブ湖で進められているメタンガス抽出計画について、アフリカ開発銀行は、2009年より同計画に対する25百万米ドルの融資を決定した。同計画につきルワンダ政府はコントロールグローバル社と契約を締結しているが、ルハムヤ・エネルギー・水担当大臣は、同社の計画実施が遅れていることから、契約を見直す考えを明らかにした。インフラ省関係者によると、複数の多国籍企業が同計画に興味を示している。

### （3） 外交・安全保障

ア アメリカ・ルワンダ関係：アメリカ・アフリカ軍（U S A R F）司令官のホッグ将軍が10日から3日の日程でキガリを訪問した。国防省によれば、訪問の目的はU S A R Fとルワンダ国防軍（R D F）の関係強化である。

イ オランダ・ルワンダ関係：15日、クナーペン大臣はカガメ大統領を表敬し、経済協力とジェノサイド容疑者引渡の手続きを中心に会談した。ムシキワボ外務協力大臣によれば、クナーペン大臣はルワンダの発展の状況を賞賛し、ジェノサイド・イデオロギーの統制の必要性について理解を示し、部族分裂主義やジェノサイドの事実の否定を取り締まる法律について、公的な議論が行われていることに勇気づけられた由。同大臣は、ジェノサイド容疑者のオランダからルワンダへの引渡に必要な書簡の署名について両国政府が協議中であるが、技術的な問題が残っていることも明らかにした。

ウ イギリス・ルワンダ関係：イギリスの参謀総長であるリチャーズ将軍がカガメ大統領を表敬した。同将軍はカガメ大統領と、地域の安全保障、ルワンダの平和維持活動、二国間の安全保障協力について話し合った。イギリスとルワンダの間には1994年以来安全保障協力の関係があり、同将軍は、ルワンダと周辺地域の安全保障がイギリスにとって重要であると述べた。カヨンガ参謀総長によれば、同将軍の訪問は二国間の安全保障協力の強化を図るためである。

エ ベルギー・ルワンダ関係：訪問中のベルギーの貿易大臣は国民和解の進展につき、国民統合和解委員会（N U R C）を賞賛した。同大臣はルワンダにおける投資機会を探る投資家のグループを率いて訪問している。

オ E U・ルワンダ関係：22日、政府はE Uとの間で26百万ユーロのセクター

財政支援につき合意した。同支援は、貿易、地域統合、ビジネス発展のために利用される。

カ ウガンダ・ルワンダ関係：カンパラにおいて東アフリカ石油会議が開催され、参加した商業省事務次官は、本年の3月にルワンダとウガンダを結ぶパイプラインの建設に関する詳細な交渉が再開されることを明らかにした。

キ 中国・ルワンダ関係：カバレベ国防大臣はシュウ中国大使と会談し、両国の軍事協力、とりわけ能力強化につき話し合った。

ク AU総会：1月末、カガメ大統領はアジス・アベバでのAUサミットに出席し、コートジボワール、スーダン、ソマリア、ニジェール、マダガスカル情勢につき話し合った他、バン・ギムン国連事務総長等とバイ会談を行った。

ケ ナイル川流域協調枠組み合意：ゴマ（コンゴ（民）北キブ州）で開催されたナイル流域国間での会合において、協調枠組み合意（CFA）への同意の必要性について関係国は訴えた。会合に参加したカマンジ大臣は、同会合が協調的であったと述べた。同大臣は、同会合においてCFAの発効について大きな前進があり、ルワンダとしては同協定をできるだけ早く発効させて地域の共同発展に役立てたい旨述べた。

コ 反政府武装勢力の活動：ミース国連コンゴ（民）民安定化ミッション（MONUSCO）司令官は、コンゴ（民）東部においてルワンダ解放民主軍（FDLR）が弱体化していると発表した。一方で、1月後半には50～80件の性的暴力が報告されており、安全保障理事国はFDLR弱体化のためのさらなる努力を促した。

（注）「ルワンダ月報」は、ルワンダの英字日刊紙「The New Times」の報道を当館限りでまとめたものです。記事の中の客観事実は、日本政府やルワンダ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。